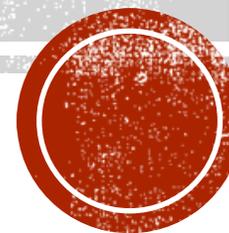


2024. 5. 7

# 変容するインドネシア

小川忠（跡見学園女子大学）



# 本日の講義：主なポイント

1. インドネシア理解の難しさ（インドネシアの社会変容）
2. インドネシア社会のイスラム化
3. イスラム化はコロナ禍対応にどのような影響を及ぼしたか
4. 原点回帰：パンデミックに起源をもつインドネシア・ナショナリズム
5. インドネシアのイスラム外交強化

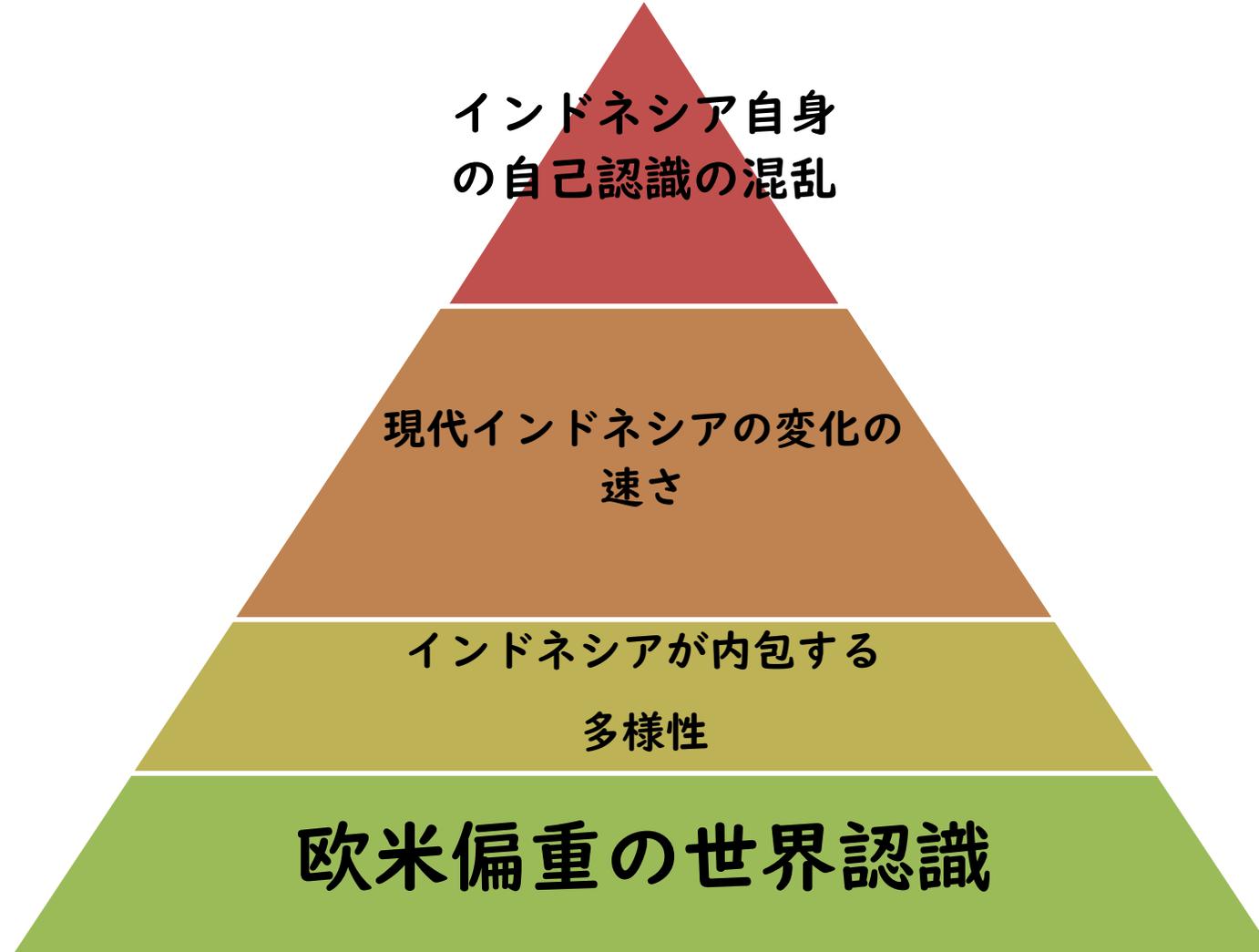
## 【本日の講義の参考文献】

小川忠 『変容するインドネシア』 めこん、2023

小川忠 『逆襲する宗教 パンデミックと原理主義』  
講談社選書メチェ、2023

# 1. インドネシア理解の難しさ (インドネシアの社会変容)

# なぜ日本で現代インドネシアを 理解するのは容易でないのか



なぜ日本で現代インドネシアを 理解するのは容易でないのか

# インドネシア自身の自己認識の混乱

- 常に問返される「インドネシア」アイデンティティー
- イスラム法に基づく国家運営の要求  
(アチェは特別自治法により「唯一イスラム法が施行」)
- パプアの分離独立要求

なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか

# インドネシア自身の自己認識の混乱

## 「インドネシア」という新しい国

- 第二次世界大戦後に誕生した比較的新しい国（東南アジアの多くがそう）
- この地域には歴史的には高度な文明をもつ国家が古代・中世に存在したが、現在の国境線と一致する国は過去にない。
- 近世に入って、オランダの植民地となった多様な言語・宗教・文化をもつ諸民族が団結して独立し、一つの国を作ろうと考えたことから「インドネシア」国家が誕生

なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか  
現代インドネシアの変化の速さ  
力強い経済成長を続けるインドネシア

一人当たりGDP（名目）（単位：ドル）（インドネシア政府統計）

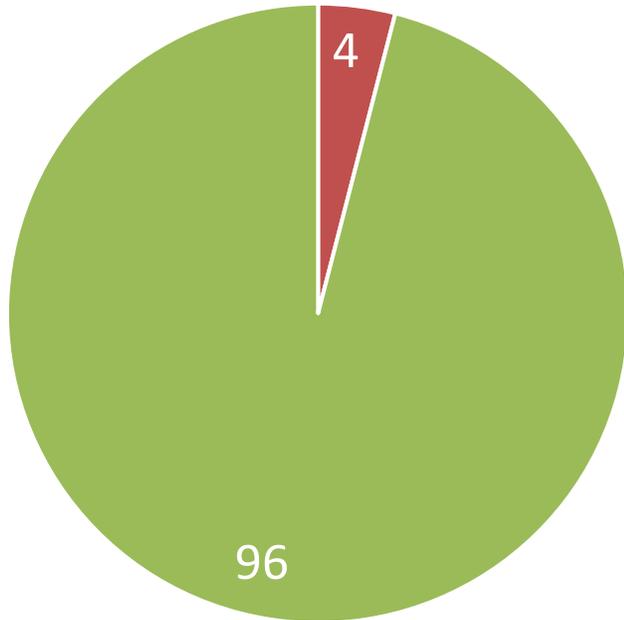
	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
一人当たり GDP(名 目)	2,977	3,498	3,562	3,666	3,531	3,374	3,605	3,885	3,947	4,196	3,921
	2021	2022									
一人当たり GDP(名 目)	4,362	4,798									

一人当たりGDPが3000ドルを超えたら「貧困国」を脱したといわれる。インドネシアは2011年に3000ドル超え。

なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか  
現代インドネシアの変化の速さ

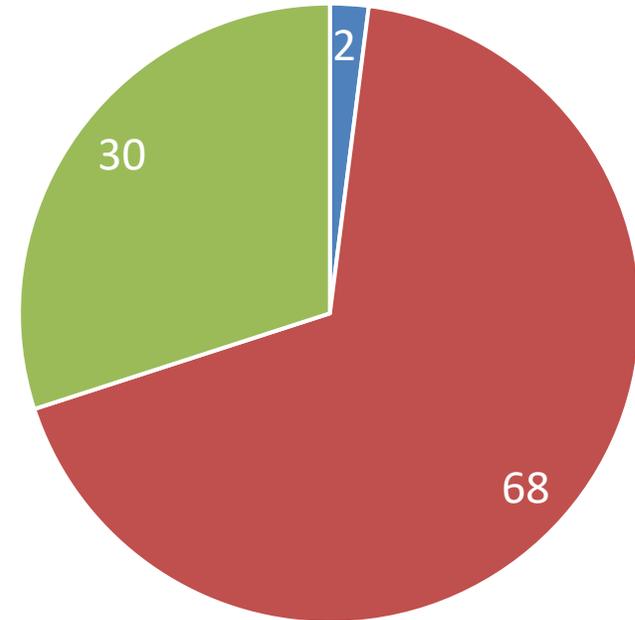
# いまや国民の半数以上が中産階級 ジェトロ報告書より

2000年世帯所得別比率



■ 富裕層 ■ 中間層 ■ 低所得層

2018年世帯所得別比率



■ 富裕層 ■ 中間層 ■ 低所得層

富裕層: 35,000ドル以上 中間層: 5000~34,999ドル 低所得層: 4,999ドル以下

なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか

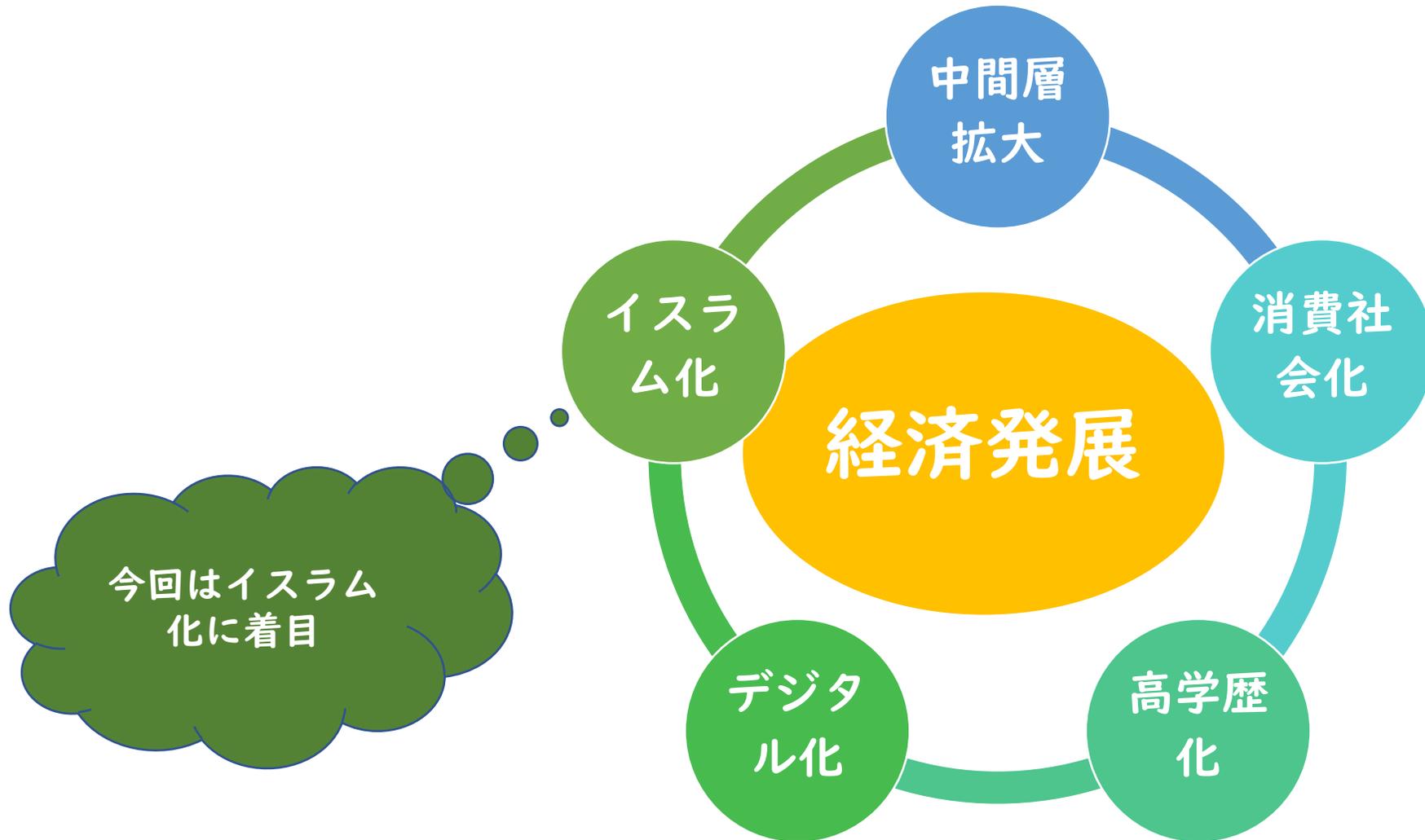
# 現代インドネシアの変化の速さ

いまや国民の半数以上が  
中産階級。  
都市部中間層の生活は、  
日本や欧米と変わらない。

しかし経済成長から取り  
残された人もいて、貧富  
格差が拡大しているとい  
う指摘も。



# 現代インドネシア社会の変容のベクトル



## 一国の中の多様性

圧倒的多数のエスニック集団が存在する国

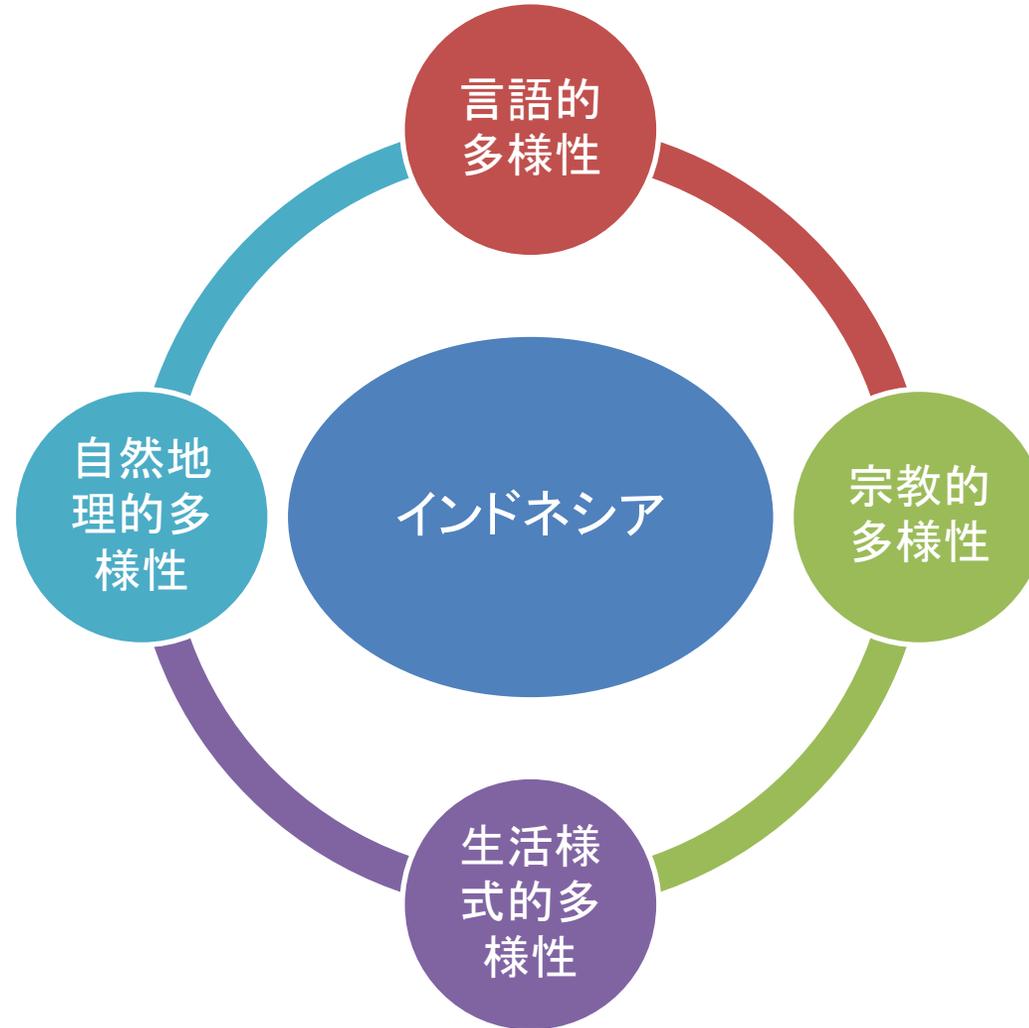
- ・ 中国、韓国、モンゴル
- ・ シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナム
- ・ バングラデシュ、ブータン、スリランカ

圧倒的多数のエスニック集団が存在せず、多数のエスニック集団によって構成される国

- ・ インドネシア、フィリピン
- ・ インド

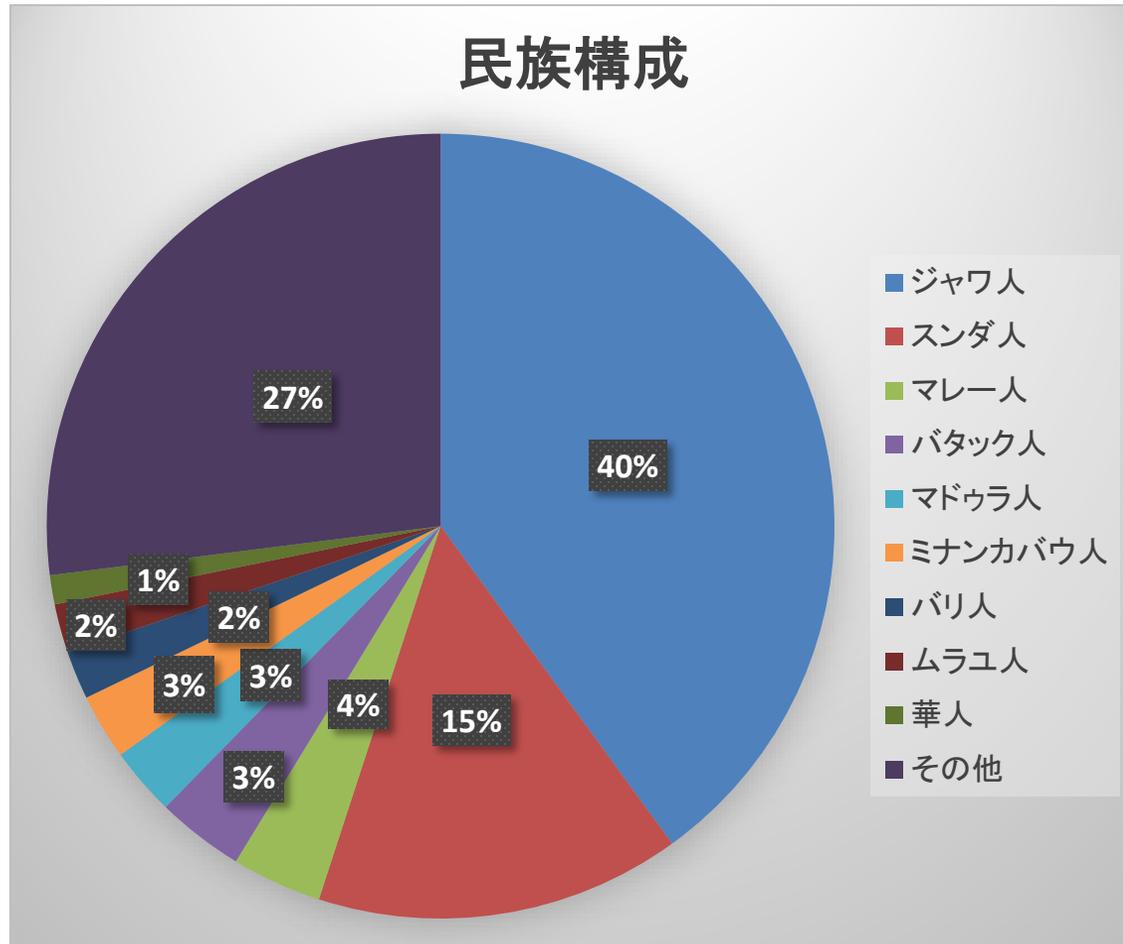
なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか

# インドネシアが内包する多様性



# インドネシアの多様性：民族構成

2010年国勢調査より



ジャワ人	40%
スンダ人	15%
マレー人	3.7%
バタック人	3.6%
マドゥラ人	2.8%
ミナンカバウ人	2.7%
バリ人	2%
ムラユ人	2%
華人	1.2%
その他	27%

# インドネシアの多様性：民族分布



# 多宗教国家インドネシア

インドネシアの宗派別比率、世界最多のイスラム人口

宗派	総人口に占める割合
イスラム	88.1%
キリスト教	9.3%
ヒンドゥー教	1.8%
仏教	0.6%
儒教	0.1%

順位	国	イスラム教徒人口
1	インドネシア	2億0287万人
2	パキスタン	1億7408万人
3	インド	1億6095万人
4	バングラデシュ	1億4531万人
5	エジプト	7851万人

なぜ日本で現代インドネシアを理解するのは容易でないのか

# 欧米偏重の世界認識



## 2 インドネシア社会のイスラム化

# インドネシアの国家スローガン 「多様性の統一」 (ビネカトゥンガル・イカ)

国家5原則  
(パンチャシ  
ラ) を胸に表  
したガルーダ  
がつかむリボ  
ンにこの言葉  
が)



# インドネシアの国家原則：パンチャシラ (1945年憲法前文に記述)

1 唯一神への信仰

2 公正で文化的  
な人道主義

3 インドネシア  
の統一

4 合議制と代議  
制における英知に  
導かれた民主主義

5 全インドネシ  
ア国民に対する社  
会的公正

# インドネシア憲法では

インドネシア憲法29条第一項によれば  
「国家の基礎となるのは**唯一神**への信仰」  
→無神論は許容されない。

他方、インドネシア憲法29条第二項では  
「国家は、すべての国民の**信仰の自由を保障**し、その宗教及び信仰に従って礼拝をおこなう自由を保障する」

→信仰の自由を保障している。  
(イスラムを国教とする規定はない)

# 「世俗主義」 「政教分離」

宗教は個人の内面に属する私的領域として、

宗教と政治を分離し、

政府は宗教との距離をおき、

全ての宗教に公平に対応する、

国民個々の宗教選択の自由を保証する、

宗教の側も政治への関与を避ける

こういう考え方を「世俗主義」「政教分離」と呼び、  
近代社会の大原則となっている。

# インドネシア宗教省が公的認定を与える 6つの宗教

- 1 イスラーム
- 2 カソリック
- 3 プロテスタント
- 4 仏教
- 5 ヒンドゥー
- 6 儒教

宗教省が発行する身分証明書の宗教欄は、上記6つの宗教から選択（1950年代に制定された法律に基づく）。

それ以外は「その他」カテゴリーに入れられ、宗教ではなく文化として教育文化省に登録する。



# スカルノの政教分離主張

土屋健治『インドネシア思想の系譜』より

「全信徒の胸中に燃え上がるイスラムの炎、これこそが国家をイスラム国家とするのであって、一枚の紙に書きつけられた「国家は宗教をその導きとする」という条項ではないのである。

何のためにわれわれは国家が”宗教と分離される”という憲政の知恵を恐れるのか。」

スカルノ「我々はなお活動不足である」1940年



# パンチャシラ（世俗民族主義の国是）

スハルト強権体制下で最も重要な国是に

- 1978年大統領令で「パンチャシラモラル向上プロジェクト」という普及運動が始まる。
- 反共と国家統合イデオロギーの柱に。
- 公務員とその家族から、イスラム指導者、企業人、新大学生などの研修活動が行われた。



Ketua Presiden Kabinet Ampera/Menteri Utama, Jenderal TNI Soekarno



# スハルト強権体制から民主化 (パンチャシラの国家統制は緩和)

1998年までは、30年に及びスハルト大統領と軍部の強権体制

現在：直接選挙によって大統領が選出



# 近年のインドネシア パンチャシラ教育を強化する動き



イスラム主義の  
台頭



国家はパンチャ  
シラ教育の強化  
で対抗

- 2016年大統領令により、6月1日は「パンチャシラの日」として国民祝日に
- 改正大衆団体法に基づき、イスラム強硬団体（HTI）を、「パンチャシラに反する団体」として解散を命令
- 2018年政府部内に「パンチャシラ・イデオロギー強化局」を新設

# インドネシアの「イスラム化」の定義

これまで、イスラム教徒でありながらもその教えをそれほど強く自覚してこなかった人びとが、イスラム的価値観を「善きもの」と考えるようになり、日常生活においてイスラムの戒律を守り、敬虔なイスラム教徒として生きていこうとする変化。



# イスラム化の定義

インドネシア国民の意識の変化、「イスラム化」は、都市部の中間層、青年層において顕著。

(写真はジャカルタにある私立大学の教員たち)



# 「イスラーム化」は多様、多面的

個人レベルでの「イスラーム覚醒」「イスラーム意識の活性化」

その帰結として

→経済：イスラーム金融、ハラール市場の拡大

→文化：イスラームをテーマとする映像、文学、芸術の隆盛

→内政：選挙においてイスラーム意識の高い有権者の票をど  
うとりこむかが焦点に

→外交：イスラームを資源とする外交

# 従来の「近代化」の考え方

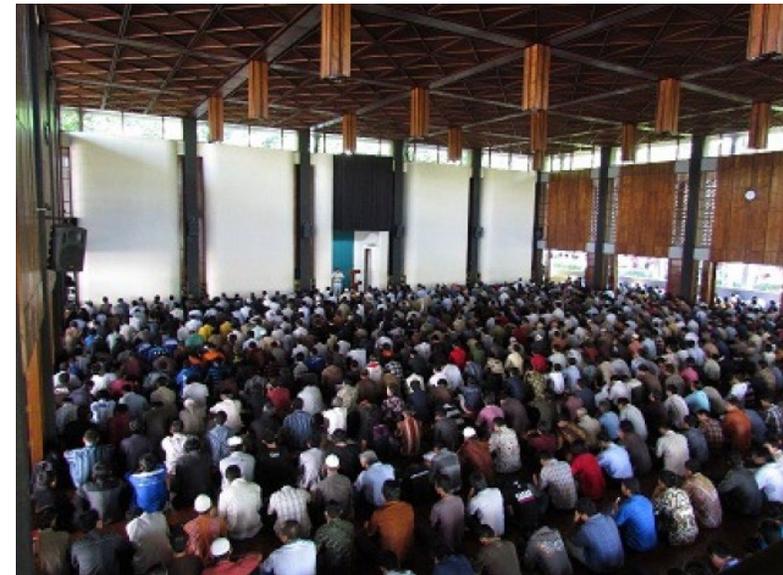
- 欧米において「近代化」とは、宗教改革、市民革命、産業革命の産物として成立したと理解
- 近代化された世界とは、合理的な生活原理が社会の隅々まで貫かれた世界
- 近代化論は、「近代化」は欧米だけではない普遍的な歴史原理で、世界は伝統社会→軽工業→重工業→高度産業社会に移行していくと主張
- 近代化論では、非合理（例えば宗教）なるものは、やがて廃れるか、個人的の内面（精神世界）のみに限定されると予測

# 近代化論を覆す「イスラム化」現象

インドネシアにおいて、1970年代後半以降、近代化、開発と並行する形で「イスラム化」現象が発生。

例えば

- ✓ インドネシア大学、バンドン工科大学等開発エリート養成機関でイスラームを思想的背景とする学生運動が活発化。
- ✓ 上記の大学で、ベールを被る女学生の数が増加





# ハラール

□ 「イスラムの教えで「許されている」という意味のアラビア語がハラール

□ 反対に「禁じられている」という意味の言葉が「ハラーム」

ハラールやハラームはモノや行動が「神に許されている」のか「禁じられている」のかどうかを示す考え方

□ 例えば、嘘をついたり物を盗んだりすることは「ハラーム」とされる

□ ハラールとは神に従って生きるイスラム教徒（ムスリム）の生活全般に関わる考え方であり、ハラールマーケットは、ムスリムの日々の生活全てに関わる商品やサービスなどの提供を全て含んだ、とても幅の広い市場

# ハラール産業の概念



# 社会の近代化がハラール意識を刺激

産業の近代化

生産、加工工程  
の複雑化

ハラール認証へ  
のニーズ増大

# グローバル化がハラール意識を刺激

皆がイスラム教徒の社会：ハラールであることが当然

国境を越えた人の移動：社会の多文化化

ハラールが当たり前という前提が崩れる

イスラム教徒のあいだでのハラール認証ニーズ増大

3 イスラム化はコロナ禍対応に  
どのような影響を及ぼしたか

# パンデミックと向き合ったインドネシア・イスラム

- ✓インドネシア社会の「イスラム化」は、パンデミック対応にも影響
- ✓国民のハラール・ワクチンへのこだわり
- ✓政権のワクチン対策

# コロナウィルス出現に 関するイスラーム世界の見方

## 1 原理主義的解釈

クルアーンにウィルス出現は預言されていたと主張。ウィルスはイスラームの敵に対する天罰と主張。

2 状況対応型解釈ー ウィルス出現は神が与えた試練。クルアーンを現代医学と照らしながら解釈。

## 3 世俗主義的解釈

ウィルスは単に自然災害、宗教とは関係ないと主張。クルアーンに書かれていないことは、人間が理性的、主体的に判断する自由があると主張。

大方の世界のイスラーム教徒の見方は2か3  
1の解釈をする人たちはほんの一握り。

# イスラム過激組織のパンデミック解釈は 原理主義的

- 善悪二元論、終末観的世界認識
- 「神の敵対する勢力に対する天罰。今こそ敵を打倒すべき」  
(天罰攻勢論)
- 「イスラム国 (IS)」は「当初新型コロナウイルスを、背教者、無信仰者、拒絶者に対する「神の怒り」「神の戦士」と呼んだ。

クルアーン第13章42節

「不信心者は終末の住いが誰のものであるかを間もなく知るだろう」

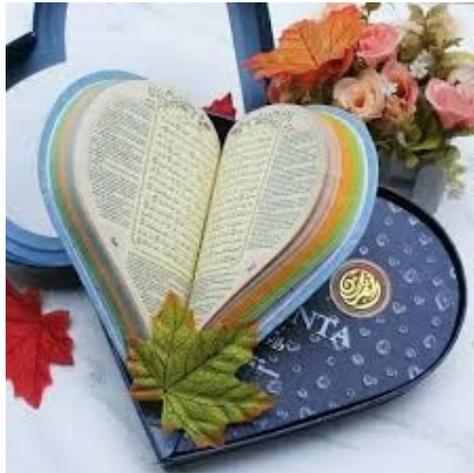
## イスラム主流派の宗教的見解

- 集団礼拝は感染拡大の恐れがあるという医師たちの見解にしたがって、自宅で礼拝せよ
- クルアーン2章195節に「自分の手で自らを破滅に陥れてはならない」とあり、集団礼拝は危険行為

→近代科学、医学と矛盾しないように  
イスラム教義を解釈するのが主流派

# ウィルス危機に際して、 引用されているクルアーンの愛の章句

不安と戦う人々を勇気づける言葉。クルアーンにはこうした博愛を奨励する章句もある



「人の命を救う者は、全人類の命を救ったのと同じである」  
(5章32節)

「アッラーの道のために（あなたがたの授けられたものを）施しなさい。だが自分の手で自らを破滅に陥れてはならない。また善いことをしなさい。本当にアッラーは善行を行う者を愛される」 (2章195節)

「むしろ正義と篤信のために助け合って、信仰を深めなさい。罪と恨みのために助け合ってはならない。」 (5章2節)

「あなたの衣を清潔に保ちなさい。不浄を避けなさい。」  
(74章4～5節)

# ウイルスと戦う武器としてのイスラーム

(パンデミック下、信仰を必要とする社会)

- 1) 天罰論否定と社会、人類との連帯、
- 2) 相互扶助、利他精神、
- 3) 近代医学との共存（衛生観念他）、
- 4) 祈りと弔い

ムハマディア 2020年3月19日金曜説教

イスラーム教徒がなすべきこと

- ① 神に対する信仰を深めよ
- ② 社会的距離を保ち、金曜礼拝を自粛せよ
- ③ 支援を求める人をすくえ

「むしろ正義と篤信のために助け合って、信仰をふかめなさい。罪と恨みのために助け合ってはならない。」（クルアーン 5；2）

「ひとの命を救う者は、全人類の命を救ったものと同じである。」（クルアーン 5：32）

# インドネシアのワクチン接種

- 中国シノバック社開発のワクチン接種が1月14日からスタート
- 2022年までに人口の7割以上、1億8千万人の接種完了を目標



# ワクチン接種第一号は大統領

ジョコ・ウィドド大統領（20年12月16日会見）

「財政当局にワクチン接種を無料とするよう予算の最優先事項とし、**国民の不安を払拭するために**自らが最初のワクチン接種者となる」

1月13日国民に先立ち接種を受け、その模様がユーチューブで生中継。



# 「国民の不安」とは？



安全性？



ハラールか？

# グローバル化がもたらすハラール概念の拡張

## ハラールに関するクルアーン言及例

「一切の善い（清い）ものを合法〔ハラール〕となし、悪い（汚れた）もの〔ハラーム〕とする。」（7章157節）

「かれがあなたがたに、（食べることを）禁じてられるものは、死肉、血、豚肉、およびアッラー以外（の名）で供えられたものである。だが故意に違反せず、また法を越えず必要に迫られた場合は罪にはならない」（2章173節）

# インドネシア国民のハラールへのこだわり

- 国民のワクチン接種をためらう理由の一つ：「ワクチンがハラールであるか疑問」
- 2017-2018年はしか及び風疹予防ワクチン接種キャンペーンの挫折←ワクチン接種を禁じたイスラム保守派の宗教見解



# 政権のワクチン対策： イスラム指導層抱きこみ

- 中国製ワクチンの安全性チェックに、イスラム組織が同行
- マアルフ・アミン副大統領のワクチンをめぐる発言がもたらした混乱
- 「ワクチンがハラールであることを神は求めている」（政府幹部、イスラム指導者）



# 「国民の不安」に対して政府とイスラム権威がお墨付きを出す（1月11日）

食品医薬品監督  
庁がワクチン緊  
急使用許可

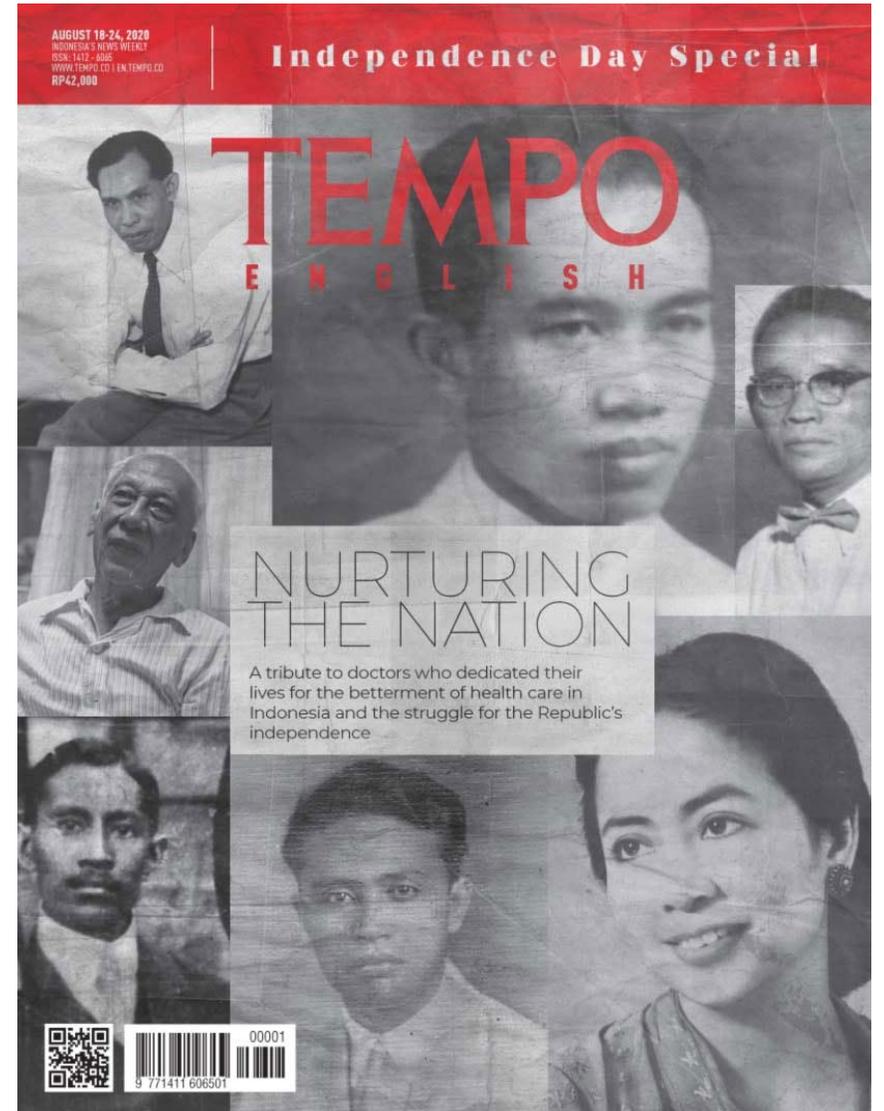
インドネシア・  
ウラマー協議会  
がハラール見解

## 4 原点回帰：パンデミックに起源をもつインドネシア・ナショナリズム

# 始まった国家アイデンティティーの見直し

「テンポ」誌 2020年8月18日号特集

「パンデミックと戦ったインドネシアの  
医師たちの歴史」



# 原点回帰：パンデミックに起源をもつインドネシア・ナショナリズム

- 国民意識の芽生えた医学生たち
- ペストと戦う青年医師
- 植民地当局の怠慢
- 医者と世直し

# ナショナリズムの起源となった医学校

インドネシアのナショナリズムはいつどこで誰とともに始まったのか、という問いは実はいまだ十分に答えられていないと思う。

ただ、近代的な意味での誕生ということになれば、それは1908年に、バタヴィアの医師養成学校（STOVIA）の学生たちを中心に結成されたブディ・ウトモから始まる。

土屋健治 『インドネシア思想の系譜』 94頁

# インドネシア医師養成学校の設立

- パスツールとコッホの発見が変えた植民地政府の保健衛生政策
- ジャワ人子弟への専門的教育、医師養成学校の設立
- 植民地行政の中間テクノクラート養成
- ➔ この層から民族運動の指導者輩出



# ブディ・ウトモの結成

- ブディ・ウトモ 1908年結成
- 教育、産業振興を通じた原住民社会の発展を目指す
- 同組織から独立指導者チプト・マングクスモ輩出
- チプトらが1912年「東インド党」結成。植民地からの独立を要求する最初の政党



# ペストと格闘するジャワ人青年医師たち

- 1911年東ジャワでペスト流行。19万人が犠牲に。
- 植民地政府はインドネシア医師養成学校のチプトら医師を動員
- オランダ人医師と比べて不当な待遇
- 植民地体制の偽善、人種差別への怒りが独立運動のエネルギーに



# 「スペイン風邪」(1918-1921) 被害を拡大させた植民地当局の怠慢

- 植民地政府は、オランダにとって重要な貿易業務を停滞を恐れて、検疫に関する具体的な措置をとらず
- 主要港湾都市から「スペイン風邪」感染者が拡大
- 犠牲者数 150万人~437万人? 感染予防知識が乏しい最下層から多くの犠牲者。
- 植民地政府はインドネシア医師養成学校の学生をも動員
- 医療現場にあってもインドネシア医師養成学校学生は「二級市民」と軽んじられる



# 医療ナショナリズムの形成

1920年代

科学という権威を装った白人優越意識を打破し「精神の自立」を求めたラトムテン医師

1930年代

アブドゥル・ラシード医師が、民族主義と医療を結び付けた医療ナショナリズムを提唱。地域の伝統医療への再評価

1940年代

日本軍政下ジャカルタ医科大学が創設、ジャワ医事報公会在組織化

# 医者と世直し

19世紀から20世紀にかけてアジアの民族運動指導者には医師出身が多い

例

中国：孫文

フィリピン：ホセ・リサール

マレーシア：マハティール

日本：福沢諭吉、橋本左内、大村益次郎



# 医療倫理を軽んじる 植民地体制への怒りが世直し運動へ

近代医療の基本原則：

- 1 貧富・上限の格差なく  
医者は患者に向きあわ  
なければならない
- 2 医療は、医療行為に  
とどまらず、生活環境・  
衛生・保険制度・教育等  
社会体制の完全に関わ  
る)

近代医療の基本原則が軽ん  
じられる植民地社会の現実

(貧富格差、人種民族差別、  
保健行政の怠慢、教育の不  
備)

医療関係者のあいだ  
で体制変革を求める  
声が高まり、民族主  
義、独立運動へ

## 5. インドネシアのイスラム外交強化

# インドネシアのイスラム外交強化

➤ 2015年 IS（「イスラム国」）によるテロ頻発

➤ パブリック・ディプロマシー強化を求める国会論議

イスラムこそが暴力の根源」という西洋の批判にさらされているイスラム諸国がインドネシアを頼ってきている。もはや様子見を決め込んでおとなしくしている立場ではない。

（与党議員）

外務省は世界に向けてイスラム理解促進のための発信を強化すべきである。IS（「イスラム国」）は真のイスラムではないということを世界に納得させるため、インドネシアは先頭に立たねばならない。

（イスラム政党議員）

# インドネシアのイスラム外交とは

国際社会に対して、イスラーム圏国家の立場を説明し、支持を得るための国際交渉、広報、国際交流

インドネシアの国益を増進するために、宗教(イスラーム)を外交資源として活用する国際交渉、広報、国際交流

## イスラム外交

イスラム過激派勢力によるテロ問題に対する外交対応

中東、北アフリカ他イスラーム圏諸国に対する国際交渉、広報、国際交流

# イスラム外交の達成目標

「イスラム教義そのものが、テロを産んでいるわけではない」という点を非イスラム圏に説明

欧米でイスラム教徒に対するハラスメントが発生するなか、欧米在住のイスラム教徒同胞の安全を確保

「インドネシアのイスラム教徒は、穏健なイスラム。インドネシアは安全」という認識を国際社会に普及

「インドネシアは多文化主義、多文化共生のモデル」という認識を国際社会に定着

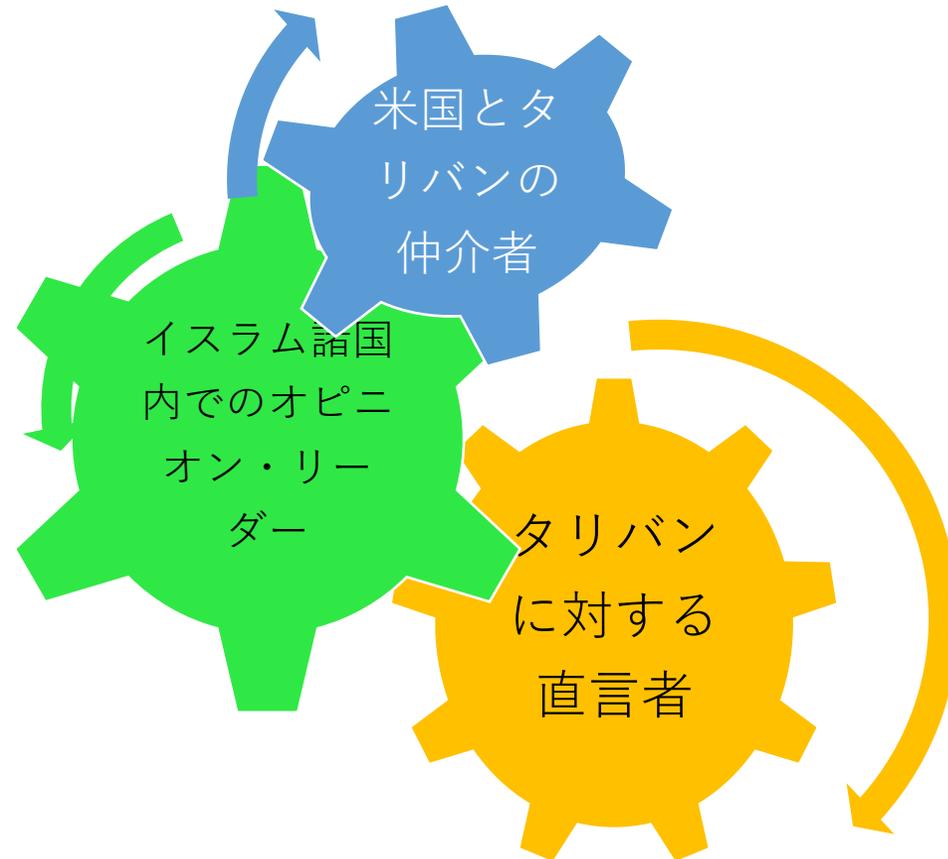
インドネシアの  
対外イメージを  
改善

# インドネシアのイスラム外交の背景

- イスラム外交が説得力をもつには
  - 対外発信と国内の現実に齟齬がないこと
- 「イスラム」を前面に押し出さなかった従来の外交
- インドネシア指導者が抱えていた二重の劣等感
  - 欧米へのコンプレックス
  - 中東イスラムへのコンプレックス
- 経済成長、民主化とイスラム化が両立していることにインドネシア指導者は自信獲得

# 対アフガニスタン パブリックディプロマシー

## アフガニスタン情勢に対して インドネシア外交が果たそうとしている役割



# 「イスラーム・ネットワーク」を生かした パブリック・ディプロマシー

- タリバンとの対話回路としての「ナフダトゥル・ウラマー」(NU)
  - 2007年韓国人拉致事件において、タリバンは人質受け取りにNUを指名
  - 2014年「ナフダトゥル・ウラマー・アフガニスタン」が創設
  - タリバン指導者とNUの人的交流（カギを握るのはNU中央役員会元副議長アサド・サイド・アリ、国家情報庁（BIN）副長官をつとめた異色の経歴）
- モデルとなるインドネシアのイスラーム女子教育

マラヤ大学M・ニアズ・アサドゥラ教授

「タリバンの課題は、女子教育の拡大。そのモデルとなるのがインドネシアのイスラム女子教育。アフガニスタンはインドネシアから多くを学ぶことができる」

（「ザ・カンバゼーション」21年10月11日付け）